

*「setroundly.net」からライブ情報や動画を見ることができます（「you tube」からもセットラウンダリーの動画を見ることができます）

*森貴寛(Dr.)、坂本淳樹(Ba.)、下山明恵(Key./Cho.)

*東京お台場にある世界最大級のライブホール（収容人員1000人）



発掘! さわめびと

週2回の路上ライブを活動の中心に据え、夢は「日本一のシンガー」と語るミュージシャン。



しま 貴寛 さん
じゅん 淳 さん

1988年佐久穂町生まれ。八千穂中学時代にギターとバンドを始め、野沢南高でもバンドを続ける。高校卒業後、ミュージック音楽院に進み、2012年「セットラウンダリー」を結成。これまでに出したアルバム4枚すべての曲の作詞作曲を担当。現在はライブハウスや路上ライブを中心に活動。「言葉にしにくいことを歌にしていきたい。今は毎日が修行みたいな感じ。ガムシャラにやるしかありません。家族は両親と兄弟の5人。千葉県在住。

「音楽をやっている一番目指しているのは普遍的なもの。子どもの頃から童謡が大好きだったんですけど、そういう後世に残るものをつくっていききたい。大変な道だということはもちろんわかっていますけど」

昨

年七月の「茂来ライブ」(茂来館)に、凱旋し、素晴らしいステージで

観客の心をつかんだ島崎淳さん。セットラウンダリーを結成して六年。これまでに出したアルバム四枚すべての作詞・作曲を手がけているが、作曲のテーマは「人と人の間に起こること」。

「根本的にはみなさんが『愛』と呼んでいるものなのかなとは思って、愛してよ、とか愛してよ、とか言わない——つまり、人が人に与えるのではなく、そこにただあるものを表現していきたい」
現在、他の三人のメンバーとともに、千葉県を拠点に精力的な音楽活動を続けている。

ギターを始めたのは中学二年の時。動機はよくある、女の子にモテたい、ではなかった。

「クラスに仲良しの五人のグループがいたんですけど、ぼくを除く四人がいつのまにかバンドを始めて、ぼくだけが取り残されちゃって」

そこで夏休み、須田芳明さん(現・茂来館館長)に頼み込んでギターを猛特訓。その甲斐あって、夏休みが終わった時には、みんなに追いついていた。

高校時代は「あまり目立たない、ヤンキーにビビっている高校生だった」というが、バンドを続けながら、軽音楽部にも所属。ただ、部員は親友の友達と淳さんの二人だけだった。

「その親友と部活頑張ろうねってやってたんですけど、三年になったとき、ヤンキーたちが文化祭で目立とうとんだれ込んできたんですよ。で、部の実権握られちゃって、文化祭ではメインステージに立てず、なぜか畳

の部屋でライブしました(笑)」
だが、その頃すでに音楽は淳さんにとつてなくてはならない存在になっていた。

「高校時代は、ライブを見に行ったり、ライブをしたり、練習したり、バンドのことしか考えませんでしたね」

卒業後は大学進学か迷ったが、両親の「本当に学びたいことを学びなさい」の一言で音楽の専門学校へ進んだ。

「歌が最大の武器」と自ら言う通り、セットラウンダリーの魅力は淳さんの歌声だ。一度聴いたら忘れられない個性的な声は最大の強みと自覚している。

また、「物語的な曲を書くのが好き」と言う通り、淳さんが紡ぎ出す詩の世界には短編小説のような味わいがある。拾ったムクドリと彼女との束の間の生活を綴った『メリー』や、毎日身を粉にして働くお父さんの哀しみと家族愛を謳った『遅くなるから』など、その物語世界は美しいメロデーに乗って心に染み入る。

「一番目指しているのは普遍的なもの。子どもの頃から童謡が大好きだったんですけど、そういう後世に残るものをつくっていききたい。大変な道だということにはわかっていますけど」
客席を盛り上げていくテクニクも巧みだ。

「それは多分路上ライブで鍛えられたんだと思います。全



曲作りはまず詩を書いてから曲をつける。「言葉が持つリズムやメロディーを大切にしたいから」=2018年12月23日、茂来館で

然知らない人たちが巻き込むにはどうすればいいか、ずっと考えてやってきましたから。路上ライブなしにほぐらのバンド活動は考えられません」
昨年五月には有名ミュージシャンが数多く出演する「JAP AN JAM 2018」(千葉市蘇我スポーツ公園)に初出演。近い将来の目標は「ZEP P東京」でコンサートを開くこと。それも二年以内に、です」と、その表情には一片の迷いもない。

昨年一二月の茂来館での二回目のライブを、淳さんはこんなメッセージで締めくくった。
「いつの日か日本一のシンガーになって帰ってきて、佐久穂町のテーマソングを作るのが夢です。そして、誰もが知る佐久穂町にしますので、みなさん応援よろしくお願いします！」

取材・文/中村仁(ライター)、八千穂高原在住